

中国税理士会広島県北部支部吉田部会会長賞

「税と医療」

安芸高田市立向原中学校三年 筧 美月

消費税、所得税、法人税、相続税、酒税、たばこ税……。私はこのような多くの税があるということを知っている。

だが、それらの税のほとんどは、意味も税を納める対象者も知らない。中学生はまだ、あまり税と関わる機会が無いから、税をととても遠い存在に感じていた。

しかし、私はこの夏、病院に行ったときに税のありがたさ、大切さを痛感した。その日は、診察、エコー検査、検尿、採血をした。

その後、初めて自分で支払いをしてみると、医療費はたったの五百円だった。私はこれまでに、何回も病院に行ったことがあったし、手術もしたことがあったのに、医療費がそれほど安いということに初めて気づき、とても驚いた。それに、医療費が安い理由は、何割か税金で負担されているからだということは知っていたが、実際どの程度かは知らなかった。元不值段と一緒に調べて比べてみることにした。

調べている中で、私が受けている乳幼児医療費助成制度とは、乳幼児などが医療を受けたときにかかる医療費の一部、またはすべてを市町村などの自治体が負担してくれるという制度であり、その財源は税金だということがわかった。

私が住んでいる場所では高校生までがその対象で四年後からは私も一般の料金になる。今回、私がした四つの検査の料金の合計は、自費で約二万円、一般の三割負担で約六千円だった。そのことから考えても五百円で済んでいることはとてもありがたいことだと思うし、これからもずっとあってほしい制度だとも思う。

これまでは乳幼児医療という形で税の恩恵を受けており、これからも医療に限らずいろいろな方面で助けってもらうことになると思う。

これから大人になるにつれて、更に税を納める立場になっていくので、税がどのような意図で、どのようなところに使われているのかを日常の中で探し、深く理解したい。

自分の未来のためにも、他の人を間接的に助けるためにも、税をしっかりと納めていきたい。